

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田・本荘・男鹿マリーナ	設置年	平成 7 年
所在地	秋田市飯島字堀川118番地、由利本荘市石脇字田尻35番地、男鹿市船川港船川字海岸通り1番地20		
指定管理者	株式会社 マリーナ秋田		
県所管課	港湾空港	課	調整・クルーズ・空港 チーム

1 施設の概要

設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾及び河川・海岸の放置艇の集約を図り、秩序ある水域利用を行う ・海洋スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る ・観光及び教育等、地域活性化に寄与する 					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標					
	なし					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための					
	なし					
施設の面積	秋田：177,000㎡、本荘：45,000㎡、男鹿：88,000㎡					
主な設置施設	マリーナ施設（ボートヤード、船揚場、棧橋等）、クラブハウス、駐車場					
指定管理業務の内容	料金制	有（完全利用料金制）				
	料金設定	別紙				
	サウンディング実施対象施設※	○				
	指定期間	R6.4.1		～ R11.3.31		
	営業期間・時間	平日 8:00～17:00(通年)、土日 8:00～19:00(4～8月)、8:00～18:00(9月)、8:00～17:00(10～3月)				
		<ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理、運営に関する業務 ・利用促進に関する業務 				
自主事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料、船台等の舟艇に係る販売事業 ・レンタルボート、レンタル倉庫等の事業 ・その他、舟艇に関連する様々な事業 ・敷地内で栽培したワカメの刈取りイベント開催 					
直近3年の年間利用者数	R4	人	R5	人	R6	人
直近3年の年間利用収入	R4	57,523 千円	R5	55,481 千円	R6	57,092 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	
収入計	103,154	113,294	113,832	110,310	119,860	
利用料金収入	57,388	57,129	57,523	55,481	57,092	
指定管理料	0	0	0	0	0	
その他収入	45,766	56,165	56,309	54,829	62,768	
支出計	100,924	109,752	110,932	107,970	116,260	
人件費	62,612	61,349	62,466	61,981	63,593	
光熱水費	4,499	4,767	5,300	5,137	5,290	
修繕費	1,577	2,123	1,594	1,801	2,222	
外部委託費	0	0	0	0	0	
その他経費	32,236	41,513	41,572	39,051	45,155	
差引	2,230	3,542	2,900	2,340	3,600	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

- (1) 健全な海洋性スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、本施設の利用促進に取り組む。
 (2) 本施設を通じた地域振興を図るため、県民等を対象としたイベントを開催する。

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	年間出港回数 7,200回
--------------	---------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	6,744	達成率	93.7%
	具体的な 取組と その効果	R6年度は5月荒天と7月の豪雨被害、12-3月の冬期間の荒天の影響があったが、その他の月では海況の良い日が多く、出港数が伸長した。出港促進策としてオーナー艇対象フィッシングダービーを5-9月5ヶ月間開催し、計712件の釣り情報をSNSで発信した。レンタルボート利用者対象フォトコンテストも同時期に開催し、39件のエントリーをSNSにて発信した。		
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	目標	7,500	7,500	7,500
	実績	7,273	7,225	6,090
	達成率	97.0%	96.3%	81.2%
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	年間出港回数 7,200回		
	設定根拠	R6年度6,744は前年6,090と比して110.7%となったが、R4年度7,225、R3年度7,273並みの出港回数をR7年度目標とした。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	天候に左右される所はあるが、7月豪雨被害が無ければ7,000回を超えていたと考える(前年同月差▲370回)。燃料代高騰による出港控えの声もあった。出港促進策は情報発信が一番効果があるため、フィッシングダービー等の釣り情報発信を継続して実施していく。
	県 (所管課)	B	出港のピークとなる7月に大雨による悪天候が続いたことで、出港回数が伸び悩んだ。施設の特性上、天候に左右されてしまうが、SNSによるPRやイベント開催と絡めながら、利用艇数の増加を図っていただきたい。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	80.9%		
	具体的な 取組と その効果	新規契約顧客への顧客満足度アンケートは前年より9.1pの増となった。目立った低評価は無く、スタッフ対応も評価を得た。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	66.9%	73.3%	71.8%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	一部砂利になっているオーナー駐車場の舗装化、オーナー以外の乗船者の駐車などの意見があった。今後県と対応策を検討していく。
県 (所管課)	A	指摘に対し、オーナーとの協議により対応方針をまとめるなど、満足度向上に努めた対応をしていただいた。引き続きお客様からの声を運営に反映することで、満足度の向上を図っていただきたい。	

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	通信費 実績1,043千円 前年比87.7%
	具体的な 取組と その効果	全オーナーへの郵送案内 年6回→2回へ(未送付4回分はSNSへ掲載) 請求書送付の郵送→メール変更(年度末現在3割ほどメール変更済み)

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	売上合計 実績119,861千円 前年比108.7% (県施設利用料売上 同102.9% 自主事業売上 同114.5%)
	具体的な 取組と その効果	自主事業売上 施設利用料 8,620千円 前年比114.3% 価格改定 テナント売上 4,520千円 同133.2% 免許教習所のテナント入居

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	人件費をはじめ殆どの経費科目で物価高騰の影響が出た中で、取り組んできた通信費の圧縮が出来た。収入は、自主事業売上で施設利用料、テナント売上の施策結果が出た形となった。
	県 (所管課)	A	収支は11期連続の黒字となっており、自主事業での売上等により安定した経営状況にあると判断できる。今後も安定した経営を維持していただきたい。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<p>○職員の資質向上 施設の運営に必要な資格・講習を随時受講している。(R6実績 刈払機取扱作業安全衛生教育受講 丙種危険物取扱者免状取得 危険物取扱者保安講習受講)</p> <p>○地域貢献・関係団体との連携 本荘高校(ヨット部活動)、男鹿海洋高校(小型船舶免許実技教習)、(一社)秋田港有効利活用協会(秋田北防波堤釣り公園)、船舶免許教習所、舟艇販売業者と連携している。また一般県民を対象とした親子クルージング体験(秋田マリーナ)、小学生を対象としたワカメ刈取り体験会(全マリーナ)の実施、栽培ワカメの社会福祉施設・NPO法人への寄付(秋田・男鹿マリーナ)を行っている。</p> <p>○安全対策 クレーンなどの機材、栈橋などのマリーナ施設の点検結果から、必用に応じて修繕を実施し、利用者が安全に利用できる施設を保っている。</p> <p>○危機管理 安全管理マニュアル及び、緊急時連絡体制を整備している。</p>
--------------	--

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	適切な管理運営を行っており、円滑に指定管理業務を遂行している。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)
・釣りイベントやワカメ刈取イベントなどを企画し、多くの県民が海洋スポーツやレクリエーションに触れる機会を提供している。
○施設運営の課題
施設の老朽化
○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)
・イベント等を通じた地域との関わりも多く、子ども連れの家族を対象としたイベントは好評を博しており、県民が海洋スポーツやレクリエーションに触れられる貴重な場として機能している。引き続き県民が安全に利用できるよう、老朽化への対策を計画的に行っていく。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上で公表する。

評価(提言)
○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>~<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】

今後の対応方針
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

【今後の対応方針の進捗状況について】

※今後の対応方針策定済みの施設について、策定翌年度の評価対象年度から記載

今後の対応方針の進捗状況
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)